

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名:夢門塾ゆうゆう西大寺

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			スペースは十分ありのびのびと活動できる環境にある。
	②	職員の配置は適切である	1		3	職員数が少ない、知り合いに声掛け。夢門塾の他事業所から応援をしてもらう。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			個別支援計画に基づいて支援を行い、定期的なモニタリングを行いPDCAサイクルで活動している。ミーティングや朝礼で意見交換・情報共有している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			現在作業中。
	⑥	自己評価の結果を公開している			4	今年度公開する。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	4			研修への参加をし、参加者は全職員に周知する。自己啓発を目的とし事業所で書籍を購入し障害についての知識を深める。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			保護者とのモニタリング、相談支援専門員、学校の先生と情報交換し、スモールステップで計画を立てる。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			職員間での情報共有をし話し合いをして進めている。それぞれの活動を当番制で行い作業の進捗を適時報告連絡相談している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	3	1		療育グッズの選定購入を適時していく。研修に参加し利用児の発達レベルに合った支援を工夫する。ブログやトークノートで他事業所の活動を参考に。各自情報集に努める。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	1		1か月前には翌月の活動の見通しをつける。長期休暇時は普段できない活動を取り入れる。季節感のある活動を心がける。レクリエーションの計画をを綿密に立てる。平日の活動がマンネリ化しないように新しい運動、遊び、活動を取り入れる。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			子どもの発達に応じた活動をする。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		活動について職員でしっかり話をし情報共有をする。業務日誌の活用。ミーティングでの情報共有。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			支援計画に対応する記録、ミーティングでそれぞれの支援でうまくいったことや失敗したこと等共有していく。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			定期的なモニタリングを行い、保護者の要望、事業所で出来ることを精査し発達レベルに応じた計画を立てている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			ガイドラインはいつでも閲覧できる。明確な目的の下活動計画を立てている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	3		保護者を通して情報共有している
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	2	2		保護者を通して必要に応じて資料を提供していただいている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	3		該当者なし。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			相談支援専門員から助言をもらい、かつ情報共有をしている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			連絡帳、コドモンで連携、また送迎時に気になることについて報告、相談をしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			契約時の説明と保護者からの質問にはその都度回答している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	2		話を聞くことはしているが困り感に適切な助言はできていない。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		1	3	今年度はできていない。来年度からに保護者参加型のレクリエーションを計画する。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情については事実を調べてから回答。記録に残し職員間で話し合い再発を防ぐ。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			毎月1回夢だよりの発行。月2回程度夢ブログへの投稿。
	㉗	個人情報に十分注意している	4			社内ルールに沿って個人情報の取り扱いには注意している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	3		地域のイベントへの参加。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	3	1	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			年2回以上の避難訓練を実施。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		出来るだけ全員参加を促す。不参加者には事業所で研修。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	3	1		該当者なし。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	3	1		与薬についての説明を再度し予約票を事前に渡しておく。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			事案については情報共有をし再発を防いでいる。